

健康社会研究センター ニュースレター 第 15 号

2011. 07. 15 発行

◆ 目次 ◆

- 1 最近のプレスリリース
- 2 主な研究成果発表
- 3 学会・シンポジウム・研究会等のお知らせ
- 4 その他お知らせ

1 最近のプレスリリース

“看取り”にまで格差—自宅での看取り割合にも経済的な余裕で 1.8 倍の差 (2011 年 6 月 20 日)

経済水準の低い世帯の高齢者は、自宅で死亡する割合が 32.5%と、高い世帯の 57.7%と比べ 1.8 倍の差が見られた。看取った家族の「看取りの満足度」も低いことなど“看取り”の状況にまで格差があることが、訪問看護ステーションを対象とした全国調査データの再分析から浮かび上がった。この研究結果は、日本社会福祉学会の機関誌『社会福祉学』52 巻 1 号に掲載された。

<詳細はこちら →[杉本浩章：“看取り”にまで格差](#)>

2 主な研究成果発表

<論文>

- ① Hanibuchi T, Aida J, Nakade M, Hirai H, Kondo K: Geographical accessibility to dental care in the Japanese elderly. *Community Dental Health* 28(2): 128-135, 2011
- ② Jun Aida, Katsunori Kondo, Hiroshi Hirai, S v Subramanian, Chiyo Murata, Naoki Kondo, Yukinobu Ichida, Kokoro Shirai and Ken Osaka: Assessing the association between all-cause mortality and multiple aspects of individual social capital among the older Japanese. *BMC Public Health* 11(1):499, 2011.6
- ③ 藤野善久, 近藤克則: 健康の社会的決定要因 (12)「健康格差への取り組みと健康影響評価」。日本公衆衛生雑誌 58 (4) : 300-305, 2011. 4
- ④ 中出美代, 近藤克則: 健康の社会的決定要因 (13)「高齢者の低栄養と社会経済的地位」。日本公衆衛生雑誌 58 (5) : 382-387, 2011.5
- ⑤ 三澤仁平: 補完代替医療の利用における心理社会的要因の影響。厚生指標 58 (6) : 1-7, 2011
- ⑥ 杉本浩章, 近藤克則, 樋口京子: 世帯の経済水準による終末期ケア格差—在宅療養高齢者を対象とした全国調査から—。社会福祉学 52 (1) : 109-121, 2011

<学会発表>

- ① Katsunori Kondo: J-AGES project: Overview and Exploratory Analysis of Social Capital and Health. International Society for Social Capital and Health (ISSC), 2011. 6. 16-17, University of Manchester, UK
- ② Jun Aida: Different relationships of trust and mortality between men and women among older Japanese. International Society for Social Capital and Health (ISSC), 2011. 6. 16-17, University of Manchester, UK

- ③ Yukinobu Ichida: Reliability over time in measuring social capital (using 3 time-points panel data). International Society for Social Capital and Health (ISSC), 2011. 6. 16-17, University of Manchester, UK
- ④ Kokoro Shirai: Social Capital and Health in Okinawa, Japan: Preliminary result examining "MOAI" and its association with health in Okinawa. International Society for Social Capital and Health (ISSC), 2011. 6. 16-17, University of Manchester, UK
- ⑤ 平井寛, 近藤克則, 西晃弘, 白井こころ, 近藤尚己, 尾島俊之, 竹田徳則: 高齢者の組織参加状況と4年以内の健康寿命喪失の関連 - AGES コホートデータを用いて. 第53回日本老年社会学会, 2011. 6. 16, ハイアットリージェンシー東京.
- ⑥ 村田千代栄, 近藤克則, 平井 寛, 尾島俊之: 地域在住高齢者の抑うつと悪性新生物による死亡との関連 - AGES コホートデータによる分析. 第53回日本老年社会学会, 2011. 6. 17, ハイアットリージェンシー東京.
- ⑦ 竹田徳則, 近藤克則, 平井寛: 地域在住高齢者の認知症を伴う要介護認定発生と趣味や会への参加多寡との関連 - AGES コホート研究. 第53回日本老年社会学会, 2011. 6. 17, ハイアットリージェンシー東京.
- ⑧ 大塚理加, 平井寛, 近藤克則, 尾島俊之, 西晃弘, 近藤尚己, 大島浩子: 高齢期における配偶者との死別経験が健康に及ぼす影響とソーシャルサポートの効果 - 愛知老年学的評価研究 (AGES) プロジェクトデータによる検討. 第53回日本老年社会学会, 2011. 6. 17, ハイアットリージェンシー東京.

<講演等>

- ① 近藤克則: 日本の高齢者における健康格差 - AGES プロジェクト. 健康格差と都市の社会経済 構造研究会第3班 (理論班) 研究会, 2011. 6. 25, 大阪市立大学.
- ② 近藤克則: 高齢者医療制度改革の課題と戦略 - 日本版 NSF 策定に向けて. 医療政策学習会, 2011. 6. 28, 東京.

3 学会・シンポジウム・研究会等のお知らせ

1) 在宅ホスピス・ケア研究会第19回全国大会 in 沖縄

【日 時】2011年7月16日 (土) 10:30~12:00

【場 所】沖縄コンベンションセンター

【講 演】近藤克則: 多死の時代 高齢者のケア

2) 地域疫学国際ワークショップ ~今帰仁フィールドワーク~

【日 時】2011年7月31日 (日)

【場 所】今帰仁村商工会議所

【講 演】○基調講演

<講 師>近藤克則: 「全国と沖縄におけるソーシャルキャピタル研究の可能性」

○ラウンドテーブルディスカッション

テーマ: 沖縄と今帰仁データからみた介護予防とソーシャルキャピタル

<ファシリテーター>白井こころ

<ディスカッサント>Ichiro Kawachi, 佐々木敏, 石川清和, 高倉実, 等々力英美

※地域疫学国際ワークショップ in 沖縄 (International Workshop of the Regional Epidemiology in Okinawa) の詳細は→[こちら](#)をご覧ください。なお、このワークショップは、地域疫学及び地域医療に興味のある若い医師、研究生、大学院生を対象としています (定員20名)。若い医師、研究生、大学院生の皆様の申し込みを優先と致します。英語及び日本語で行われます (通訳なし)。

3) 運動疫学関連研究会のお知らせ

①第 12 回運動疫学セミナー

【日 時】2011 年 9 月 2 日 (金) ~4 日 (日)

【場 所】ホテル・サンミ倶楽部 (熱海市)

②第 14 回運動疫学研究会学術集会

【日 時】2011 年 9 月 15 日 (木) 13:00~17:00

【場 所】海峡メッセ下関

4) 介護予防 WG (JAGES)・AGES 研究会今後の予定 ※変更になることがあります。

・7 月研究会

【日 時】7 月 24 日 (日) 10:30~17:00

【場 所】日本福祉大学名古屋キャンパス 7B 会議室

・8 月研究会 (合宿)

【日 時】8 月 17 日 (水)・18 日 (木)

【場 所】幡豆町 (現・西尾市)

・9 月研究会

【日 時】9 月 10 日 (土) 10:00~17:00

【場 所】国立社会保障・人口問題研究所 (状況により変更有)

5) 「健康とくらしの調査」共同研究会開催 ※要事前連絡

【日 時】2011 年 8 月 5 日 (金)

【場 所】日本福祉大学名古屋キャンパス 7B 会議室

【対 象】「健康とくらしの調査」実施保険者

4 その他お知らせ (再掲)

World Conference on Social Determinants of Health. October 19-21, 2011 (WHO)

(WHO: 健康の社会的決定要因に関する世界会議)

【場 所】Rio de Janeiro, Brazil

【日 程】2011 年 10 月 19-21 日

※詳細はこちら→<http://www.who.int/sdhconference/en/>

<5 つの主要テーマ>

1. governance to tackle the root causes of health inequities: implementing action on social determinants of health (健康格差の根本原因への対策を講じるための統治: 「健康の社会的決定要因」に対する行動を起こす)
2. the role of the health sector, including public health programs, in reducing health inequities (健康格差抑制のための保健医療セクター (公衆衛生プログラムを含む) の役割)
3. promoting participation: community leadership for action on social determinants (参加の促進: 社会的決定要因に対する行動のためのコミュニティのリーダーシップ)
4. global action on social determinants: aligning priorities and stakeholders (社会的決定要因に対する世界的な行動: 優先度と利害関係者の調整)
5. monitoring progress: measurement and analysis to inform policies on social determinants (進捗状況のモニタリング: 社会的決定要因対策への情報提供のための測定と分析)

<お知らせ (再) >

「健康社会研究センターのホームページの「リンク」のページ<http://cws.umin.jp/link.html>の中に、「健康の社会的決定要因や介護予防の関連論文」コーナーを作りました。リンクすべき論文などの書誌情報と URL をお知らせ下さい。

ニューズレター第15号の発行にご協力いただきましてありがとうございました。

今後とも当センターへのご支援をよろしくお願い申し上げます。

ニューズレター内容についてのご意見・お問い合わせや、メーリングリストの配信の停止をご希望の方はこちら<k-manami@n-fukushi.ac.jp (泉)>までお知らせください。

ニューズレターのバックナンバーはこちら<[バックナンバー](#)>

発行元：健康社会研究センター <http://cws.umin.jp/>

(このメールは、国際シンポジウム「健康の社会的決定要因－社会疫学の可能性」(2009年3月14日開催)にてメール登録をご希望いただいた方及びメーリングリストweb登録をいただいた方に配信しています)
